

今回のおすすめメニュー

— 忘れない、忘れたくない、忘れてはいけない —

NO IMAGE

『14 歳のヒロシマ』

被爆者が伝える戦争と平和のはなし』

著 者: 梶本 淑子

出版者: 河出書房新社

所蔵館: 中央館

請求記号: 319カ

ちょっとあじみ

いま戦争をしている人たちは「何もわかっていない」——。

ヒロシマで 14 歳で被爆した著者は、テレビに映し出される殺伐とした世界情勢を目の当たりにし、憤ります。本書は著者の幼少期から、平和な日常の中でゆっくり、そしてじわじわと戦争が始まっていく回想が綴られています。

戦後 80 年という節目を迎える今、改めて当時を生き延びた方々の声に耳を傾けてみませんか? 「私たちのような体験を次世代の人たちには味わってほしくない。」そう強く望む著者の戦争と平和のはなし、ぜひご一読ください。

サイドメニュー

NO IMAGE

『30 代記者たちが会った戦争
激戦地を歩く』

著 者: 共同通信社会部 || 編

出版者: 岩波書店

所蔵館: 中央館

請求記号: 210サ

NO IMAGE

『戦争の時代の子どもたち』

瀬田国民学校五年智組の学級日誌より』

著 者: 吉村 文成

出版者: 岩波書店

所蔵館: 中央館

請求記号: 210ヨ